

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度第3回入間市学校統合委員会（西武地区中学校）
開 催 日 時	令和4年11月17日（木） 午後7時00分 開会・午後9時10分 閉会
開 催 場 所	西武公民館 2階 大会議室
議 長 氏 名	幡野 敏彦
出席委員(者)氏名	平岡 武、前川 喬、永田 知恵、大久保 俊祐、佐藤 正利、 横田 修、幡野 敏彦、鈴木 信義、栗原 正明、山崎 嘉久、 早川 等、倉根 勝彦、佐竹 英樹、田邊 玲、吉田 賢紀
欠席委員(者)氏名	宇田川 和利、篠塚 清治
説明者の職氏名	教育総務課長 村田 雄一 教育部副参事（学校統廃合担当）岩田 孝弘 教育部副参事（教職員指導担当）金岡 広道
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 （1）通学路と交通安全対策について （2）統合後の学校の名称について （3）その他 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	8名
配 布 資 料	次第 西武地区における中学校統合の経緯（追加資料） 西武地区の通学路課題箇所位置図（資料1－1） 西武地区中学校統合に係る通学路の安全対策と概算費用 （資料1－2） 西武地区中学校統合に係る通学路に対する課題【追加分】 （資料2－1） 西武地区の通学路課題箇所位置図【追加分】（資料2－2） 統合後の学校の名称について（資料3） 令和5・6年度新入生の制服等購入予定事前アンケート調査の結果 について
事務局職員職氏名	教育部長 浅見 嘉之 教育部次長 佐藤 政史 教育部参事兼学校教育課長 遠藤 敏 教育総務課長 村田 雄一 教育部副参事（学校統廃合担当）岩田 孝弘

	教育部副参事（教職員指導担当）金岡 広道 教育総務課主幹（学校施設担当）田中 崇晃 学校教育課主幹（学事保健担当）坂田 誠
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開会

2 委員長あいさつ 幡野委員長

3 議題

(1) 通学路と交通安全対策について 岩田副参事より説明

課題箇所の確認、追加箇所の確認

(2) 統合後の学校の名称について 岩田副参事より説明

名称についての意見聴取

(3) その他

4 その他

令和5・6年度新入生の制服等購入事前アンケート調査の結果について

次回 令和5年1月26日(木) 19時からの予定

5 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
幡野委員長 議長 (幡野委員長) 岩田副参事 議長	開会 令和４年度第３回入間市学校統合委員会（西武地区中学校）の開会 (幡野委員長あいさつ) これより、議長を務めさせていただきます。 議事に入る前に、事務局から説明をいただきたい点があります。ここにいる委員の中に、疑問に思われている方もいると思いますが、平成３１年３月に策定された「入間市公共施設マネジメント事業計画」では、西武中学校と野田中学校の統合は令和１１年度とありました。それが、何故、令和７年度になったのか、改めて経緯を共有してから議事に入りたいと思います。 それでは、事務局より説明をお願いします。 《追加資料「西武地区における中学校統合の経緯」により説明》 只今の説明に対し、何かご質問はございますか。 《質問なし》 無いようですので、議事に入りたいと思います。 本日の出席者は１５名です。宇田川委員、篠塚委員より欠席の連絡をいただいています。 本日の会議録の署名は、私と平岡委員をお願いします。 本日の議題は３点あります。 １ 通学方法と交通安全対策について ２ 学校の名称について ３ その他 議題（１）「通学方法と交通安全対策について」を議題とします。 内容は２つあります。資料１が前回の会議でお示し、検討会議でまとめられた３０箇所の課題箇所への対応についてです。資料２が新たに課題箇所として示された１０箇所です。

発 言 者	発 言 内 容
	順番に事務局の説明をいただき、委員の意見を伺いたいと思います。 それでは、資料１－１と、１－２にまとめられた３０箇所の課題箇所の安全対策と概算費用について、事務局に説明を求めます。
岩田副参事	《資料１－１、１－２により事務局説明》
議長	資料１－１と資料１－２は、地区検討会議でまとめられた３０箇所について市で検討をいただき、具体的な対応策とその時期、目安となる概算費用を示していただきました。これらの安全対策と概算費用について、ご質問、ご意見等がありますか。また、早期に進めていただきたい箇所、この対策で良いかどうかについてもご意見をいただければと思います。
前川委員	資料を見ましたが、重要な危険箇所、一番危ない箇所への対応というのが学校統合後になるというのが納得できません。やはり、子どもたちが安全に通えるよう、最低でも令和１０年度以内に対応すべきではないかと思います。令和１１年度以降になってしまうのか、何故こういう風になるのか。ここを早急に対応するのが市の仕事ではないのか。これを実現するのがこの会議ではないのか。何故、難しい問題を全部先送りするのか。事前に資料を貰って、何故こういう計画になるのか疑問を感じていました。このことについて、事務局の考えを答えていただきたいと思います。
村田課長	通常、道路用地買収にはかなり時間を要するため、長期となり令和１１年度以降になってしまうのではないかと、という書き方をしていますが、先ほど説明をした通り、早期に土地所有者との交渉を実施しますので、土地所有者から用地買収の同意が早く得られれば、令和１１年度より前倒してきるのではないかと思います。また、早期に道路拡幅等ができるように努めて参りたいと考えています。
前川委員	今の説明は答えではないと思います。この重要な問題を、急いで対応してくれるという事が、市が本来やる仕事ではないかと。一番優先すべきは、子供たちの安全ではないですか。一番危険だということを分かっている

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	て、用地買収があるから、金が掛かるからということで、先送りにして、対応できたらするというような説明では、考え方としておかしいと私はそう思います。 前川委員がお話された、「先送り」というところですけども、そのようにとられる部分もあるかと思いますが、教育委員会としては、子どもの安全を守るために、早期に努力はしていきます。しかしながら、何分にも、土地の所有者の理解が得られないと、道路拡幅等は行えませんので、そこだけご理解頂きたいと思います。
前川委員	この件は、今回始まった話しではなく、3年前から問題が指摘されています。その3年間、何も調べてないのですか。ここは、一番問題だという箇所を、これから交渉するというので良いのですか。このことは、私だけではなくて、前回、この委員の中から沢山の意見が出てきた問題ではないですか。交渉は難しい。今後の問題である。できるならば早く対応したい。これでは、この会議の意味がないです。学校統合までにしっかりと、この一番の危険箇所から対応するというのが筋ではないかと思います。やはり、一般企業ならば一番危険だ、一番危ないというところから手を着けるのではないですか。この資料によれば、一番簡単な方から手を着けてと、これでは問題解決にならないです。
村田課長	表中の「対応時期」に示してある時期が、対応を始める時期との誤解を招いていると思いますが、対応が完了する時期が、ここに書いてある時期となります。道路拡幅等の用地買収が必要なものは、表の短期にマルがついておりませんが、そこは早期に、土地所有者との交渉は実施して参りますので、先ほど申し上げた通り、土地所有者との交渉が早く成立できれば、完成時期は前倒しできると考えております。
栗原委員	お二人のやり取りを聞いていて、事務局は答えになっていません。危険な場所がある、用地買収に時間が掛かる、それは理解できます。それならば、開校、移転、統合も、用地買収が済んで工事が終わるまで待てば良いのではないですか。生徒の安全が確保出来ていないのに、何故、スタート

発 言 者	発 言 内 容
鈴木委員	するのか。例えば、食品販売会社の場合、安全確保のための試験に時間が掛かりますが、取り敢えず売ってしまえと言っている事と同じである。その間に、事故があったらどうなのか。安全確保に時間が掛かる、住民の方の理解を得なければならないことは、分かります。それならば、理解が得られるまで、全部待ちましようと言っているのです。不安があるのに、何故、見切り発車するのですか。食品販売でいえば、食中毒を起こすかもしれないが、その不安を抱えたまま発売するのでしょうか。そういったことが無責任だと言っているのです。 人口減少ということも含めて、市の方でもシミュレーションしてこのプランを立てたのだと思います。安全対策については、我々区長会の中でも、「子どもの安全」が最大のポイントということを大前提に、この会に出席しています。統廃合の経緯の中に、少子化、人口減少などの理由もあると思うので、事務局からも話した方が良いでしょう。
村田課長	子どもたちの安全を確保してから、統合すれば良いのではないかと言うことが栗原委員のご意見だと思います。今の西武中学校、野田中学校の一部の部活動については、生徒が少なく子どもたちが好きな部活ができない状況です。市の財政面もありますが、鈴木委員が話されたように、少子高齢化が進む中で、公共施設のスリム化を早く図らなければなりません。子どもたちの人数が減少し、様々な教育上の制約が出てくることを避けたいという事から、早く統合させていただきたいというのが、大枠の考えです。通常的安全対策はもちろん、子どもたちの命に関わるものと十分に認識をしています。ただし、先送りとか、整備をしてから統合ということではなく、待った無しの状況ではありますので、早期にできる対策は対応していくということが、教育委員会としての考えです。このことについては、市の関係部局とも調整をしながら、少しでも安全を確保するよう努めて参りますので、ご理解いただければと思います。
鈴木委員	前回の会議の時に、吉田委員から自転車通学という話もありましたが、この安全対策とか、通学路の確保というのは、自転車通学ではなく、徒歩

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	通学を前提としているのですよね。ほかの地区の学校の様子をお話されたように、自転車通学をこの西武地区の中学校で行うのか、行わないのかは、校長先生の判断だと聞いていますが、その辺は如何ですか。 原則は、徒歩通学となりますが、最終的には学校長の判断により、自転車通学も可能と考えています。市内の中学校の例では、二つの地区の中学校が自転車通学を認めています。一つの地区は、学校から自宅までの直線距離が1.5 km以上の場合、もう一つの地区は、同じく2 kmを超える場合に、自転車の通学を認めております。統合した中学校で、1.5 kmとするか2 km以上とするのかは、その時に判断することになると思いますが、自転車通学は可能と理解しています。
鈴木委員	例えば、自転車通学でも徒歩通学でもそうなのですが、小学校の登校時間がおおよそ8時20分、中学校が8時20分ということですよ。確かに危険箇所を示したものは、その通りだと思いますし、そこに何か対応しなければならないということで。ちょうど8時から、8時10分位は、自動車の数が増えていて、仏子郵便局前やヤオコー前、リバーサイドを曲がった所とかは、かなり車が多いです。そのような状況を踏まえて、小学校と中学校の登下校時に、自転車であっても、徒歩であっても、信号機のない場所を横断するのは、非常に気を使うところです。小学校と中学校が始まる時間帯をずらすとか、小学校はどこを通学路とするのか、地区ごとに通学路が確保できないものでしょうか。
村田課長	鈴木委員の言われた仏子のその場所は、実際に通勤通学時間帯に確認していませんが、中橋北の交差点については、子どもの通学時間帯に現地を見させていただきました。現状と将来では異なるかもしれませんが、令和11年度に現在の西武中学校のところに、新しく中学校ができて、現状の西武小学校に通う子どもたちの様子を踏まえて考えると、中橋北交差点から、西武小学校までの距離が、約315m、西武中学校が約1095mあります。その距離の差と始業時間、子どもたちが登校する時間は、小学校と中学校では、小学校の5分ほど早く、この交差点のところは、小学生と

発 言 者	発 言 内 容
鈴木委員	中学生が交錯しないと思います。ただし、場所によって異なりますが、人や車が最も集中するのが中橋だと思います。 仏子からは、4区の子どもたちが小学校に行きます。野田中学校の子どもたちが、今の西武中学校に行きますと、野田中学校の生徒の方が多いので、中橋北やその辺で相当混雑すると思いますし、待機場所が無く、横断歩道が無いところを渡ってしまいます。歩道の幅とは別に待機場所との関係になった場合は要件が違ってきますが。実際に人の流れを見てみないと分からないと思いますが、改善できるところは、改善してもらいたいと思います。
村田課長	今のご意見の通りで、様々な交通量の多い危ない場所がありますので、逐次確認をさせていただきたいと思います。
議長	ありがとうございました。他にご質問等ありますか。
吉田委員	先ほど、鈴木委員から自転車通学について話がありましたが、野田中学校ができる前に、新光の方々も西武中学校に通っていて、消防署の通り（バス通り）よりも北の方は、自転車通学が許されていて、そこは、直線距離で2 kmはないと思いますが、その当時は許されていたと聞いたことがあります。 次に、先月、仏子地区も野田地区も、保護者向けの説明会が学校で行われたと聞きました。道路を拡幅すると、用地買収も含めてどの位のお金が掛かるのかは分かりませんが、説明会に参加した保護者に意見を聞いたところ、そこにお金を掛けるよりも、新しい橋をもう1本架けて欲しいです。中橋の通りで、橋を架けるのではなく、歩行者と自転車が安心して通れる橋を架けた方が安心という意見を聞きました。その橋を架ける事が用地買収と比べ、どちらが安価なのか分かりませんが。それと、お金を掛けるのであれば、スクールバスにお金を掛けて欲しいなど、他の意見もありました。当然、中橋の通りが広くなって、安全に通ることができれば良いですが、かなり幅を広げなければ効果がないと思うので、そこにお金を掛けるよりも、別の方法を考えても良いのではないかという意見もありまし

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	た。 吉田委員が話された通り、ここに挙げた30ヶ所が本当に対応すべき所なのか、その場所だけで良いのかということもあります。道路拡幅をするのであれば、橋を架けるという意見ですが、中橋通りは、歩道が狭い部分があり、特に東側が狭く車道と歩道の分離にガードレール等が無いとため、危険とも思いますが、例えば、拡幅はせずにガードパイプを付けることで、ご理解いただけるのか。橋を架ける計画では、億単位の金額になることや、橋を架ける箇所に道路があるのか。河川を渡す橋であるため、市の判断だけではできません。次の説明の中で、危険箇所の追加分もありますが、危険箇所で挙げた場所などに対応の必要が無い場合や、他に工夫して欲しいなどのご意見があれば、ぜひお聞かせいただければと思います。
議長	ありがとうございました。他に質問等ありますか。
前川委員	前回、八街市の事故を受けて、統合によって関係する道路拡幅も含めて、補助金が貰えると聞いていますが、この計画どおりの学校の統合後の対応でも補助金が貰えるか確認していれば、お答え願います。
村田課長	八街市の事故を受けて、国が補助金を交付しています。前川委員が話された通り、歩道の拡幅や、先ほどお話ししたガードパイプ、防護柵の設置についても、補助の対象になっています。補助率は、最大で55%ですが、補助の対象が「通学路の安全の確保のため」と限られるところから、実際に国に補助金申請をしなければ、どの程度まで「通学路の安全の確保のため」と認めてもらえるものなのか分かりません。また、認められた場合であっても、国の補助金の予算もありますので、いくら補助されるのかなど、実際に工事を行ってみないと分からないところです。また、長期的な計画のものに補助が貰えるかについては、その補助制度がいつまであるか、現状において分かりません。早期に用地買収をして工事を行っていきたいとは思っております。
前川委員	一般的には、工事が終わってしまうと補助金が貰えないと思いますが、いずれにせよ、今の小学校の児童が、歩道の西側を占用して歩いている状

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	況なので、中学校の生徒は、東側を歩くのではないのかと思います。夕方に通ると分かりますが、車が渋滞し、通勤する人や自転車が通る状況で、今でも危険だと思います。やはり、すべては安全を優先するという市の考え方に基づいて、統合の後に考えるという考え方は捨てて、「命」、「安全」、「人にやさしい」、「子どもたちために」という気持ちで市が頑張っていたきたいと思います。是非、その計画を優先し前倒しして進めていただきたいと思います。 前川委員がお話された通り、できる事は少しでも早く対応したいと思います。時間が掛かるものもありますが、短期に対応ができるところを行いながら、少しでも、子供の安全を確保できればと思いますので、今後とも、色々な意見をいただければと思います。
議長	ありがとうございました。他にありますか。
栗原委員	吉田委員が話された橋の件ですが、高額なお金が掛かるし大変です。例えば、市の他の部局で、まちづくり関係の絡み、或いは観光のための橋として架けるということも考えられるのか。この地に私の親が移り住んだ頃、将来は仏子ニュータウンからまっすぐ仏子駅に道ができるという、夢のような話もありました。今回で言うと、歩行者、自転車用のための橋であれば、ある程度の金額でできるのかもしれませんが、それをデザインに凝った橋で、観光の目玉となるようなものにして、観光の方の税金を投入することができるのかなど、色々と考えていただきたいと思います。 それと、先ほどの用地買収の件ですが、時間が掛かるのは分かりますが、それは市の都合であって、市民の都合としてはそんなに待たされるのであれば、「冗談じゃない、入間市から出ていく」とか、「こんな市はもう放り出せ」とか、「仕事しない役人の給料減らしてこっちに回せ」というのが、市民の感情だということは理解していただきたいと思います。
村田課長	栗原委員が話された内容については、重々承知しておりますが、お金のことばかりで申し訳ありませんが、限られた予算をどのように有効に活用できるか、優先的に対応しなければならないこともありますので、そこだ

発 言 者	発 言 内 容
前川委員	けは、ご理解いただきたいと思います。教育委員会として、一生懸命頑張 って参りますので、併せてご理解ください。 私は杉島市長が目指す、入間の将来都市像の三方よし「来てよし、住ん でよし、働いてよしのまち」、この達成のためには、まちづくりだと思い ます。まちづくりは、道づくりだと思っています。道を造って、まちができる のです。それが行政の仕事です。まず、基本は道づくり、それからまちづ くり、そこをしっかりとしてから、その三方よしが徐々に出てくると私 は考えています。そのように、行政が行っている市町村が沢山あります。 基本は、道づくりから始まるのではないかと私は思います。
村田課長	確かに道や線路が出来れば、周りに色々なお店や、住宅が道に立ち並 び、まちが出来ていくのだと思います。この西武地区については、道路が 整備されたところに色々な人や、お店が集まったところではあると思いま すが、昔から人が集まっていたところでは、その道路の拡幅を進めにくい 中で、これまでも少しずつ道路の拡幅をしておりますが、それでも道路の 幅が足りない所があると思います。その中で少しでも、安全が確保できる ように努めて参りたいと思います。
大久保委員	道路を広げていただくのは、一番みんなが幸せになるので、良いことだ と思いますが、時間や予算の問題があると思います。一つの意見として、 今現在、仏子駅から新光地区まで西武バスが通っています。仏子駅から野 田中学校にバスで行く場合は、資料1-1の6番あたりにバス停があり、 そこから歩いて行くルートが考えられます。その区間の定期代が年間4万 円くらい掛かるそうです。その金額を市で補助し、西武バスと協力し、運 行本数を増やす方法であれば、費用対効果が高いと思いました。また、将 来、西武中学校に通うようになった場合には、新光地区から来るルートが 混雑すると思うので、運行本数を増やすなどの対策も考えられると思いま すので、その辺も検討していただきたいと思います。
村田課長	公共の西武バスを利用することは、もちろん考えられると思います。第 1回目の検討委員会でも、バスに限らず電車の活用という考えもお示しし

発 言 者	発 言 内 容
大久保委員 村田課長	ました。しかし、現時点では、保護者の負担でお願いができればと考えています。 市で補助の負担ができない根拠、理由は何かあるのでしょうか。 補助の仕方をどのように考えるかですが、市で100%の補助ができれば一番良いですが、補助を永遠と続けていくものなのかということや、定期券は、通学だけではなく通学以外にも使えてしまうため、例えば全額ではなく、半額の補助が良いのかなど色々な考え方ができると思いますが、現時点では、補助を続けていくのは難しいため、保護者の負担でお願いしたいと思います。
山崎委員	定期代の補助については、学校が始まるまでに子供たちの安全が担保できないのであれば、そういった代案をという意味のもので、期間を限定しても良いかと思えます。それと同時に用地買収も進めていき、用地買収が完了した時点で補助を打ち切るなど、二本立て、三本立てで考えていただければと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。
村田課長	この委員会が始まってまだ半年ですけれども、これから色々なお話を伺っていくのと同時に、市でも短期で実施できる安全対策を少しずつ対応していきますので、そういった状況も確認をしながら、合わせてご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
議長	皆様の貴重な意見をありがとうございました。 皆さんの意見を聞いておりますと、子どもの安全が第一ということで、できるだけ早く進めていただけたらと思います。資料の中に示されている箇所について、対策を早く行うことをお願いするということで、皆さんよろしいでしょうか。 ご異議は無いようですので、事務局には、予算の確保を含め、対策を早く着手するようお願いします。また、今後の進捗状況を、この検討委員会で報告をしてもらうということで皆さんよろしいでしょうか。それでは、説明していただいた安全対策について、しっかりと進めていただくようよろしくお願いいたします。

発 言 者	発 言 内 容
	続きまして、資料２－１、２－２になります。追加する１０箇所の課題箇所について、事務局に説明を求めます。
岩田副参事	《資料２－１ ２－２により事務局説明》
議長	ありがとうございました。前回の委員会で、新たに提案された課題箇所１箇所と、改めて教育委員会が現地を確認して、追加した９箇所の課題箇所について説明がありました。新しい課題箇所のため、対応策の検討に至っていませんが、今回は、この新しい課題箇所について、どのような感想、ご意見をお持ちになったか、お伺いできればと思います。何か、意見はありますか。
	意見が無いようですので、この新たな課題１０箇所について、次回の検討委員会で対応策を報告していただくということでよろしいですか。
永田委員	資料４番のヤオコー近くにあるＧ地点ですが、これは、私は何が危険か分からないので、ご説明いただけますか。
村田課長	ヤオコーのはす向かいにある仏子郵便局の前辺りになりますが、大沢川が流れており、橋が架かっています。その橋の部分には車道と歩道があり、車道については問題が無いと思うのですが、歩道部分については、橋の端のコンクリートの部分よりも、歩道のアスファルトが１０ｃｍ近く下がりが段差がありましたので、段差を無くすようにしたいと思います。
永田委員	ありがとうございます。直していただくことはありがたいと思います。ただし、この場所は、既に子供たちが沢山通っている場所ですが、危険と感じたことが無かったので伺いました。
議長	他にありますか。無いようなので、次回の委員会で対応策を報告いただくということで、よろしいですか。 ご異議は無いようなので、次回の委員会で対応を報告いただけるようにお願いします。

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	それでは、次の議題（２）の学校の名称についてとしたいと思います。 議題は、統合後の学校の名称について議題といたします。また、協議前に前回の委員会の中での説明について、事務局よりお詫びと訂正があるとのこと。それでは、事務局お願いいたします。 学校の名称を決定するスケジュールについて、前回の説明に対する、お詫びと訂正をさせていただきたいと思います。 資料３をご覧ください。１番の学校の名称に関するスケジュールについてです。第２回の委員会におきまして、学校の名称はいつまでに決めるのかというご質問がございました。事務局の説明では、令和７年度の統合までに決定をしたいとお答えしました。しかし、学校の名称につきましては、制服、校章、校歌、部活動などの協議を行うために、まず初めに決める必要がありました。学校の統合に向けての準備期間の確保や、市の条例の改正などの手続きも期間を要します。また、今後、児童生徒や保護者への説明と周知を行っていく上でも、令和５年１月に開催を予定している第４回委員会にて、学校の名称についての意見を取りまとめていただく必要があります。 誤った説明をしてしまい深くお詫び申し上げますと共に、次回の委員会までに、皆様のご意見を取りまとめていただきますよう、何卒ご理解、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。大変申し訳ございませんでした。
議長	只今、事務局から前回の説明に対する訂正の説明でありました。統合後の学校の名称については、令和７年度の統合に向けて早期に決定する必要があるとのことで、具体的には次回の第４回の委員会におきまして、意見を取りまとめる必要があるとのことです。統合後の学校の名称については、事務局の説明のとおり、次回の第４回検討委員会において意見を取りまとめるということで、よろしいでしょうか。
栗原委員	前回も話したのですが、スケジュールの説明があつて理解できないこともないのですが、先ほどの話もそうでしたが、何故そんなに急いでと

発 言 者	発 言 内 容
岩田副参事	市民の側はそう思います。この中に、「地区の名前とすることを原則としていきたいと考えている」とありますが、決定ありきなのかなという気もします。もう少し、色々な案を出してから決定しても良いのではないかと思いますし、西武か野田しかないみたいな、早く決めなさいと言われても、どうも釈然としません。何故、地区名に限らなければならないのか、全国的に見て地区名が多いのは分かりますが、それ以外の学校名もあります。中にはとても良いなという名前もありますし、他所の地区で良い名前だと思う事もあります。何故、地区名にそんなに拘るのか。仮に拘るとして、例えば仏子中学校という名称はあり得ないのか。地区名でも入間の西で入西、入西と言え、坂戸市に実際に地名がありますが、そういう事例など色々あると思います。そういう駄目出しも含め、50や60の案を出し、みんなで考えた上で決めるのであれば良いけれども、初めから、以前は西武中学校でした。その後、野田中学校が出来たけれども、子どもが減ったから西武中学校に戻しますと。何か、どうでも良い扱いをされているような気がします。その辺をもっと丁寧にするべきだと思います。スケジュールが迫っているから早く決めろと言われても、納得ができません。例えば、ここにいる検討委員が、それぞれ宿題として10個ぐらい名前を考えてきなさいと言われてれば、我々の方も考えましようとなります。それぐらいのことをしたうえで、色々な意見があったうえであれば、自分の意見が通らなくても仕方ないという気もします。初めから、これありきだ、役所が決めたこと、お前らは守るしかない、一応、形だけ説明会をしたみたいな、行政は、いつもそういう態度だと感じています。住民感情として、納得いかないところが多いということは申し上げておきます。 統合の時期について、今、西武中学校の生徒が非常に少なく、減少しています。1学年で1クラスしかない状況です。そのような中で、中学生は高校生活に向かって社会性を培うというものが重要になりますので、ある程度、生徒の数が必要で、前回の会議でもありましたが、子どもたちが選べる部活動の種類も限られるなど、人数が少ないことによる制限もありま

発 言 者	発 言 内 容
栗原委員	すので、そうしたことを学校の統合により解消していきたいということがあります。もう１つの、学校の名前につきましては、事務局としても色々と考えていましたが、例えば、仏子という名称では、一つの大字の名前になってしまいます。学校の統合により西武地区全体の子供たちが通う中学校になりますので、一つの地区の名前とした場合はどうなのか。また、市全体の今後の統廃合を考え、公立の学校ですので、例えば、中学校で考えると豊岡第１地区であれば、豊岡中学校、東金子地区であれば、東金子中学校とそれぞれの地区にある学校の名前で、その地区の生徒であり、子どもが通う学校であるなど、明確に分かることが公立の学校としては、良いのではないかと思います。西武中学校へ元に戻るという見方もあるのかもしれませんが、事務局では、その地区の名前として「西武」を選び前回の委員会において提案をさせていただきました。 まず、その地区名でなければならないということが納得いきません。それを置いて、仮に地区名だとして、仏子というのを出しましたが、西武という地名がそんなにすごいのかなと。私に言わせれば、それは１企業の名前を借りているだけじゃないかと。他所から来た人は、西武鉄道からお金を貰っているのかというぐらいの名前です。西武町という町がありました。大正か昭和か。でも、仏子という地名はそれよりはるか以前からあります。南北朝の頃からあるのです。仏子地区というのは、この辺やもっと広く、西武町も含めあるわけです。何故、それがいけないのでしょうか。そういう話し合いをしていない訳です。今、岩田さんの言い方に対して、私もこういう言い方をする。そういうやりとりが今までに行われず、全然見えていない。仏子という名前だけでも、これだけ言える訳です。地区名以外で言えば、私が前にお話した「アケボノ」と言うのは如何でしょうか。アケボノゾウの化石が発掘され、全国的に有名な入間川の流域です。全体のものが発掘されたのは狭山市の笹井ですが、この周辺も足跡の化石で言えば、化石発掘マップを重ねると殆どが西武地区です。それと、いわゆる朝の「曙」と言うのにも通じる。日が沈むより日の出の勢いがある前

発 言 者	発 言 内 容
横田委員	向きなイメージもある。そういう風になっても良いでしょう。いくらでも意見が出てくるわけです。そういうものを一切出さないで、これありきと言われるのが納得いかない。先ほども言いましたが、ここに7、8人ずらっと並んだ皆さんは、殆ど話をされていない。話をしているのは、2人だけです。他の人は、名前を考えたことがあるのですかと言いたくなります。ただ座っているだけならば、来る必要は無いです。駄目もとで、私はこれだけのアイデアを出しました。部内で話し合っただけ拒否されたけども、私はいくつ考えましたと言えますか。それだけ真剣に仕事をしていますか。それが、私の感情です。 色々と意見があったかと思いますが、私は、西武にもう50年以上住んでいます。西武という名前に愛着を感じています。私が小さな頃から、西武小学校、西武中学校がありました。多くの方々が、西武中学校、西武小学校或いは、仏子小学校を卒業していった方が沢山いると思います。私は、この「西武」という名前に非常に愛着を感じていますが、私はこの地区は、昔から西武地区であるという認識があり、皆さんの認識も西武中学校、西武小学校という名前が一番しっくりくるのではないかと考えています。私は、西武という名前が一番、しっくりくると思っています。
大久保委員	令和7年度から、名称を変えなければならないので、令和5年1月が期限なのですね。新しい学校が出来るのが、令和11年度なので、新しい学校の名前を決めると考えれば、令和9年度までは大丈夫と考えれば良いですか。例えば、今の野田中学校の名前を変えず、新しい学校の名前を考えると、令和11年度の2年前の9年度までにみんなで考えれば良いという考え方は許されないのでしょうか。
岩田副参事	先ほどご説明した通り、学校の統合については、令和7年度が統合の時期となります。生徒の人数的な問題の解消など、対応しなければならないこともありますので、令和7年度に統合して新しい学校としてスタートを切るためにも、来年の1月までに、学校の名前を決める必要があると説明をさせていただきました。

発 言 者	発 言 内 容
吉田委員	こういう言い方は、本当は嫌いですけれど、市の都合で住民に色々な我慢をして貰うのです。以前、学校で各地区に説明をされた時も、保護者からの反対意見が沢山あったと思います。たった何年かのことを、何故、市は譲れないのかという意見です。令和５年に決めなければいけない、令和９年に決めなければいけない、その４年間で、その先に長く続く新しい学校の何に影響するのだろうか。住民の皆さんに納得してもらおう名前を付けるのに、あと２ヶ月でここにいる１０何人かのメンバーだけで、決めて本当に良いのか。もう少し時間を掛けても良いのではないかと思います。そういうところを学校の説明会で、皆さんから文句を言われたのではないかなと思います。今回、追加資料で、西武地区中学校における中学校統合の経緯と説明されていますけど、何故、平成３１年度の前にあった、当初は野田中学校になるという資料のことは一言も書かれてないのか。わざと隠したのか。そういうところが、文句に繋がっていると思います。市の方は、その時に、私はいなかったので分かりませんという説明をされたと聞いていますけど、市にはその資料が残っていると思うのに、何故その説明がここに載っていないのか。平成３１年より前の２年間、その委員会に出席した方もこの中に何人かいると思います。当然、その方も、何で載っていないのだろうと、資料を配られた際に最初に思ったことだと思います。一つ、大事なことを決めるのに、市で時期を折れることができるのであれば、たった何年かの間に、そこまで急いで決める必要はないのではないかなというのが私の意見です。
村田課長	今、話されたことについてですが、公共施設マネジメント事業計画を策定する前に、市民との懇談会や説明会を実施しています。平成２９年度に懇談会、平成３０年度に説明会を行っておりますが、その時の資料では、どちらかの学校ということは決めておらず、例えば、西武中学校に行くとこういうメリット・デメリットがあります、野田中学校に行くとこういうメリット・デメリットがあるという説明をさせていただいていると思います。今、話された野田中学校に統合するところを、公共施設マネジ

発 言 者	発 言 内 容
吉田委員	メント推進課にも確認しましたが、懇談会においては、併記をしてあると分かりづらいので、片方の計画に絞った案を作ったもので、その時は、野田中学校にという案を示したが、決定事項ではなく、1つの案であると聞いています。 例えば、以前そういう説明があり、その時、最初に市長から発表があったと思います。委員会の人たちが集まり、市長から説明を受けているし、平成29年からの2年間分、市として説明会をして資料があるのに、何故この追加資料に載せていないのかということです。前回、野田中学校で保護者への説明会があった時も、何故それが変わったのか説明が無いという意見が多く出たと聞いています。この追加資料に経緯を載せるのであれば、しっかりそこを明記した方が良い。後から見て、市が何かを隠したのだと思われぬ方が良くと思います。せっかく話し合いもあるので、何故そのことを載せないのかということで不信感に繋がります。先ほど栗原委員が話されたように、何故令和5年1月に決めなければならないのか。ありきではないのかと言われてしまうのは、そういう所だと思います。もし、令和11年までに決めれば良い、ここは市が折れるということでも良いのではないかとというのが、私の意見です。
村田課長	委員からご指摘がありましたが、隠しているのではないかと、という疑念を持たれたことについては、誠に申し訳ないと思います。隠そうという意図ではなく、先ほど説明した通り、一つの案として提示していたため、ここに載せることで誤解を招くと思い、今回の資料には載せていませんでした。それと、何故、早く名前を決めなければならないのか、というご意見ですが、先ほどの交通安全対策の話でも、対策ができていないのに、何故、急ぐのかという意見もありましたが、先ほど申し上げた通り、子どもたちの教育環境を良くしていきたいということと、建物の耐用年数も考えて、早めに建て替えていきたいと考えているためです。例えば、立川断層を震源とした大地震がある可能性や、学び舎の安全性を高めたいということもあります。学校施設全体がかなり古くなっていますので、いわゆる、

発 言 者	発 言 内 容
山崎委員	より良い学び舎を造り、子供たちが勉強する環境を少しでも良くしたいと考えています。 回答をいただきましたが、名前ありきではなくても良いのではないかと、私は思っています、子どもが学ぶにあたって、名前が決まっている必要はないのかなという風に思っています。例えば、仮称で名前を「西武野田中学校」など、暫定的なものにしておくなど。市では、何回も新しい学校を作るということを強調されていて、それならば、新しい名前をみんなで考え、作っていくというのが我々としては良いのかなと思います。今の事務局の説明で、時期を折れる気持ちがないと感じてしまったので、改めて、意見を出させていただきました。
村田課長	委員がお話しされた通り、二つの学校を統合して新しい学校を作るということで、新しい名前というのも一つの案として考えられるとは思いますが、この後、次の資料で説明をしますが、元々、今の西武中学校は一部東金子も含んでいましたが、西武町の北中学校という名前が付いていました。その後、その学校が西武地区に残り、西武地区と東金子地区の境界が変わり、北が取れて西武中学校となりました。 また、野田中学校については、人口増加に伴い子どもが増え、新しく校舎を建てた場所が野田地区と言うことで野田中学校となりました。 事務局の意見としては、今の西武地区の名称である「西武」を取った中学校という意味で、他の地区に住んでいる方も、西武中学校と聞けば、あそこにある学校と認識しやすく、市外から来られる方も、分かりやすいのではと考えています。新しい名前を付けることも一つの案ですけれども、例えば、川島町で道路の名前が「ツバサ」という名前で、その道路のところにある学校だからということで名前を付けているなど、色々あるとは思いますが、「西武」という名前は、市民に一番分かりやすいということも一つのメリットと考えています。
永田委員	中学校の名前というのは、すごく大事なことなので、沢山時間をかけて決めていければ良いと思っています。子どもたちや地域の皆さんから色々

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	な意見を集めるためにアンケートを取って、そこから選ぶという方法もあると思います。しかし、そういったことをするにしても時間が掛かると思うのです。先ほどの道路のことも、すぐにできることではないと思います。土地の買収が本当に可能なのか、実現しないのかもしれないし、これも、本当に時間が掛かることだと思います。そういったことをすべて含め、スケジュールが忙しく、本当は時間を掛けなければならないことなのに、保護者への説明が10月であったことや、統合に関わる小学校5、6年生の保護者の気持ちを考えると、何故、今頃なのかと思います。本当に保護者は怒っていたと思います。いろいろと保護者からも意見が出ていました。市の方で、検討させていただきますと、いくつか答えていましたが、その検討した結果なども、教えていただきたいと思います。もう一つは、道路や学校の名前を急いで決めるのではなく、保護者の気持ちも同じですが、令和7年度に野田中学校へ統合ではなく、学校の一部を間借りして令和10年度までは、野田中学校と西武中学校が両方存在するとか、仏子小学校の中に西武中学校がある状態にして、令和11年度に、新しい校舎ができた時に初めて、新しい名前、新しい制服、すべてが新しくなって統合するという案が出ました。私は、それはとても良いと思っています。そのことについて、検討していれば、市の考えはどうかお聞きしたいです。 短い期間でお願いすることになり申し訳ないというところと、保護者説明会がかなり遅くなってしまったことは、お詫び申し上げます。 今、お話しされた、野田中学校の校舎を利用して、西武中学校と野田中学校を分けて入る。もう一つは仏子小学校に西武中学校が動いてという案ですが、まず、野田中学校の校舎の中に西武中学校と二つの学校が入るということは、二つの学校が同時に同じような授業を別々に行うということになりますし、例えば、学校長が1つの校舎に2人ということが埼玉県で認められないと思います。授業では、1つしかないグラウンドを2つの学校で使うということも難しいです。先ほどから何度も申し上げている、子

発 言 者	発 言 内 容
永田委員	供が減っているため少しでも早く、人数を増やして部活動の選択肢を与える、1学年に1クラスしか無いと、その子どもたちは、クラス編成も無く3年間生活していくということで、人数が増えれば、学年によってクラス編成を変えて、色々な子供たちとの交流ができる教育環境が整えられると思っております。また、仏子小学校への間借りといった場合も、グラウンドが1つしかないため、小学生と中学生と一緒に、授業ができるスペースが確保できません。そうしたことを考えると、やはり、野田中学校の校舎を活用して、西武中学校と野田中学校の統合を早めにしてあげたいという考え方に基づいて、今の計画のどおりにさせていただきたいと思います。 今、子どもたちのために、そうさせてあげたいとお話しされましたが、実際は、子どもたちも、その保護者も特に今の5、6年生に関しては、中学校の2、3年生という難しい思春期のときに、中途半端な状態に移らなければいけない。その環境の変化、友達の変化、先生の変化などそういったことの負担がすごく大きい中で移動するよりは、多少、部活といった運動や勉強などに支障が出たとしても、仏子小学校に間借りするなどの方が、良いというのが当事者の気持ちです。
議長	今、色々な意見が出ましたが、まず、学校の名前を決めなければならぬ時期の問題が一つ。どのような名前にするかというところを決めていかなければなりません。名前を決める時期について、吉田委員の意見のように今すぐ決める必要がなくて、もう少し、決める時期について何とかならないものかという意見がありました。実際、5、6年生の当事者の意見のところで、PTA会長の佐藤委員と大久保委員がおりますので、お二人からご意見をいただければと思います。佐藤委員からお願いします。
佐藤委員	私は、西武小学校のPTA会長を務めています。子どもたちに、学校統合の話聞いたところ、西武小学校の子どもの人数が仏子小学校よりも多いためか、友達が増えるという感覚が強いイメージとして受けています。ただし、仏子小学校の子どもたちがどうしても人数が少ない状況であるため、不安な様子を強く感じました。このほか、少年野球の指導者もしてい

発 言 者	発 言 内 容
議長 大久保委員	まして、西武地区がとても好きで、ここに住んで16年位になりますが、 仏子小学校の少年野球に入っている子ども達とも仲良く話していますので、統合することで好きな部活ができるようになるという面は、良いと思っています。ただし、保護者からすると、安心する状況を納得する形で作って欲しいという気持ちが強いです。 大久保委員からもお願いします。 私は仏子小学校のPTA会長ですが、統合までの期間が長く統合に係わる当事者が変わってきているので、意見も変わってしまっていると思います。今の当事者は、小学校5年生6年生の子どもが中学2年生、3年生のときに統合になってしまうと思いますが、令和元年から令和3年までの議事録を読むと、その当時は、とにかく早く西武中学校の生徒を、生徒が沢山いる環境で部活動をさせてあげたいという意見が多くあったと感じました。しかし、今の保護者の意見は、中学3年生の時に中途半端な状態で統合するのは困るという意見があります。そのことも分かりますが、どのような考えか聞いてみると、「何故、うちの子が。来年であれば良いのに」という考えもあり、保護者の気持ちも分りますが、少し自分勝手というところもあります。 学校の名前について、今は中学校の統合の話ですが、今度は、10年後に小学校が統合することになる。西武中学校と野田中学校の統合で西武中学校となった場合は、仏子小学校と西武小学校が統合する時は、西武小学校となるのかと予想されます。さらに、30年後には、今度は、中学校と小学校が統合という可能性もあり、その時は、西武小中学校という名前になるという推測もできます。そういったことを含めて、学校の名前の決め方に影響しているのか、それとも、30年後にまた考えれば良いという考えなのか確認したいです。 次に、先日の保護者への説明会では、何故、今のタイミングで説明会なのかという意見が多くあったと感じました。3月29日の検討会議の時に、早く統合のお知らせを保護者にしてくださいという意見がありまし

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	た。令和３年１０月に決定して、何故すぐに説明会を開かなかったのか。殆どの保護者が統合を知らないということは、言っていないのと同じです。すぐに統合の説明があれば、当時の小学５年生の保護者は、「もし、中学３年生で統合するのであれば、私立中学校を選択した」という人もいたかもしれません。何故、説明会が遅くなってしまったのか、様子をお聞きしたいという意見が、保護者の皆さんの意見としてありました。 市として、この方針を決定したのが令和３年１０月、最終的にホームページ等で公表したのが、令和４年の３月になりますが、そこまでの統合の進め方の方針を公共施設マネジメント課が担当しており、令和４年度から教育委員会が実際の統合に向けて、色々な課題を解決していくということでこの委員会を立ち上げさせていただきました。本来であれば、今年の７月位までには説明をしなければならなかったと思いますが、１０月になってしまったことについてお詫びを申し上げる次第です。また、皆様から色々なご意見をいただいていますので、真摯に受け止めさせていただき、少しでも問題の解決をしていきたいと考えています。 また、何故この時期にうちの子がという気持ちは、十分に承知していますので、できる限り早く子供たちの事前交流で、統合に向けた人間関係も保てるように、少しずつ仲良くなっただく努力を教育委員会と学校でしていきたいと思っています。
永田委員	保護者から聞いた事ですが、事前交流というものについて、具体的な計画はあるのでしょうか。
村田課長	最終的には学校の判断となりますが、具体的な例では、最初に生徒会同士での交流、部活動を通じての交流など、少しずつ輪を広げていければと考えています。今の在学生は、統合までに卒業してしまいましたが、学校同士で良いところなどを伝え合うなど、小学校にいる子どもたちが入学してきた時に、そういった経過を糧に、お互いの良いところを見せられるような状態を作るなど、少しでもスムーズに子どもたちが、一緒に勉強できるようになるような工夫をしていきたいと考えています。

発 言 者	発 言 内 容
議長	ありがとうございます。 色々なご意見等がありますが、ここで改めて、今の議題は学校の名称についてと、いつまでに決めるかというものになりますので、そこに焦点を当てて議論をお願いします。 事務局の方針では、来年1月の検討委員会で学校の名前を決定したいとの意見ですが、検討委員会としては、委員から意見が出ましたが、いつまでに名称を決めなければならないのかということと名前をどうするのか。事務局からの意見のとおり西武とするのか、別の新名称にするのかななどを議論としてください。 前回、第2回の委員会の際に校長先生からも、意見を頂いていますが、この件について、改めて意見をいただければと思います。 それでは、野田中学校長の倉根委員からお願いします。
倉根委員	事務局より学校の名前の提案をいただきました。個人的なことも含まれますが、私は、飯能市岩沢の生まれです。今は無くなりましたが、西武保育園を卒園しまして、西武地区のことは昔からよく知っています。当時、この地区が西武地区ということも存じていましたし、西武町であったことも存じています。先ほど、栗原委員から仏子という地名についての説明があり、その頃のことは、勉強不足で分かりませんでした。今の方々が知っているかどうかということ进行考慮すると、事務局から提案があった西武という名前で、賛成ですという訳ではないですが、やむを得ないのかなという認識でいました。色々なことを決めていく中で、野田中学校にも良いところが沢山ありますので、そこは是非、気持ちを汲んでもらいながら、西武中学校さんの良いところも入れていきながら決めていくことが良いと感じています。
議長 早川委員	ありがとうございます。西武中学校長の早川委員、お願いします。 事務局の案について、ベストではないけれども、やむを得ないと思い、一応、賛成の立場ではおります。前回にもお話ししましたが、令和7年度の統合時に西武中学校の生徒が非常に少ない状況です。現在の小学6年生

発 言 者	発 言 内 容
議長 佐竹委員	が、統合するときに中学３年生になります。一般的な学校統合では、生徒の比率が５対５、６対４ということになると思いますが、その時点での、野田中学校と西武中学校の生徒の比率は、今の小学６年生に限れば１３対３位の比率になります。圧倒的に野田中学校の生徒の方が多いことになります。そのため、西武中学校や仏子小学校の関係者からは、生徒の数に差が大きくありますので、統合というよりは、吸収されるというイメージがあるようです。そういったことを考えると、ご意見を伺い、色々なお考えや、思いがあると分かりましたが、落としどころとして事務局の案ということもあるのではないかと考えています。 ありがとうございます。西武小学校長の佐竹委員、お願いします。 前回の会議の時に、西武野田中学校という案が良いのではないかと思います、話をさせていただきました。その後、資料に書かれているデメリットがあるように、新校舎に移ったときには、なるほど、そういう考え方もあるのかと思い、ずっと考えていました。まだ、意見がまとまってはいませんが、西武地区、西武エリアにある一つの中学校ということで、西武中学校という名前は、ベストかは分かりませんが、ベターなのではないかと考えていました。私は、西武小学校の校長になり、この学校は、本当に西武地区の地域の方々に愛され、守られていると日々感謝しています。地域の方々が納得する、全員が納得するという訳にはいかないと思いますが、どの名称に決まるにしても、卒業生や保護者など野田中学校に携わっていただいた方々の思いにしっかり配慮し、できるだけ納得してもらえるような説明ができる新名称を決定していただきたいと思います。
議長 田邊委員	ありがとうございます。仏子小学校長の田邊委員、お願いします。 結論から申し上げますと、事務局案の西武中学校という名前が良いのではないかと考えています。仏子小学校の卒業生は、西武中学校に行くからという気持ちが無い訳ではないのですが。事務局案は、１０年後、２０年後を見据えたときに、西武地区にある中学校だから西武中学校という風に、皆様に認識していただける学校名ではないかと考えています。今、目

発 言 者	発 言 内 容
前川委員	の前にいる子どもたちが通う学校なので、学校の名前は子どもたちも含めて、納得できる名前が良いと思っておりますが、事務局が作成したメリット、デメリット等も踏まえた上で、西武という名前が良いのではないかと考えています。 私ごとですが、息子は西武中学校を卒業、三つ下の娘は野田中学校の卒業です。この二人に統合の話を聞けば、自分が卒業した学校を残したいという感情が出てくると思います。どちらにしても、早く名前を決めてあげる必要があると思います。野田中学校の生徒が多く、西武中学校の生徒が少ないとのことですが、私も西武中学校という名前でやむを得ないのではないかと考えています。名前を決めることを先送りする必要はないと思います。統合した時には、必ずどちらかの心が痛むことになると思います。しかし、我慢するところは我慢してもらい、早く決められるものは決めて、先ほどの話のように、重要な問題が他にもあるので、そちらに力を入れて欲しいと思っています。私は、次回、名前を決めても良いと思います。
平岡委員	今の西武中学校の前は、入間川を挟んで、野田地区と仏子地区とあって、今の西武小学校のところに、元加治小学校、中学校という形で学校がありました。元加治という名前は、加治さんという偉人の名前をこの地域で使ったということは聞いております。その後、西武町になって、その地名を使って、西武中学校という名前で仏子駅の方へ学校を新しく造ったという経緯だと思います。西武中学校と野田中学校が統合して、何年か後に小学校が統合することになると思いますが、名前の違う小学校と中学校ということが、しっくりといかないと思います。西武中学校という名前に問題がある訳ではないですし、西武中学校という名前に親しんだ先輩たちが大勢この地域に住んでいますので、西武中学校という名前で残していただけたら良いと思います。
鈴木委員	私は、野田中学校に西武中学校の生徒が通うのは、一時的な仮住まいのようなものと理解していました。西武中学校の職員も校長先生もそのまま

発 言 者	発 言 内 容
議長	野田中学校に行くのかと。 事務局が名前を早く決めたいということについて、その裏側には、職員の人事や、学校の運用面、法律的なものがあると思っています。統合する名前が決まれば、校長先生が1人になるということも人事ですが、そういう事情があるのであれば、校長先生が1人になるとか、職員数もこうなるとか、部活動の話はまだ先にはなりますが、事情を説明して、次回の1月に名前を決定していただく方が良いと思いました。 ありがとうございました。 皆さんのご意見聞きまして、やはり子供たちのことを考えると、色々なことをはっきり決めなければならないと思いました。来年1月の第4回統合委員会で名前を決めるということと、事務局案の西武中学校という名前についても意見いただいたので、そこを考えながら次回の会議で決めるということでよろしいでしょうか。 《異議なし》 異議がないようですので、そのように進めていきたいと思います。 議題（3）その他といたします。
栗原委員	私の意見ではないのですがけれども、ある保護者からメモを渡されましたのでご紹介します。内容は、3点です。 1点目は、入間市は、中学校を統合した前例があるのか。ない場合は、モデルとなる事例として丁寧に進めて欲しい。時間に限りがあるという形で、一言で済まらず丁寧に詰めて欲しい。 2点目は、西武中学校と野田中学校の制服では、値段が異なります。経済格差などの問題はないのか、制服代の補助などはどうなのか。 3点目は、今のところ、制服の選択は各家庭に任せると説明しているよ

発 言 者	発 言 内 容
村田課長	うだが、今後の制服の道筋はどのようなになるのかというものです。 保護者から以上の３点についてこの会議にお届けして欲しいということでお伝えしました。 今の３点についてですが、１点目の入間市は統合の前例があるのかという質問については、初めてとなります。時間を少しでも掛けることができれば、より良くできる部分もあると思います。西武地区の中学校の統合は、入間市が今後予定している中学校統合のパイロット事業となりますので、今後、統合する中学校も良い学校となるように、西武地区の新しい中学校については、より良い学び舎として、環境を作りたいと考えています。今後も、どのような校舎が良いのかなど、施設的な部分についても、意見をいただければと思います。 次に、２点目、３点目の制服の価格等の説明については、この後、本日、追加した資料を基に令和５年度、６年度の制服のアンケートの説明と合わせて回答したいと思います。
大久保委員	事務局にお願いがあります。以前、保護者向けの説明会を開催していただきましたが、保護者の中で統合することについて納得していない方がおりまして、頭の中では、いずれ統合しなければと分かっていますが、統合する時期に、中学３年生の子どもがいるということで、「何故、うちの子が」という保護者の意見が一番多くありました。理解はしているけど納得はできないという様子で、子どもの心の問題が大きいと聞いていますので、保護者への説明を密にしていきたいと思います。また、保護者からでは、通学路の問題よりも、中学３年生の時に学校を移動することが心配になっているという意見が多いです。保護者への説明会を沢山開催しても、色々な意見が出てまとまらない可能性もありますが、保護者の気持ちをぶつけられれば、最終的には、納得されると思います。話し合いがうまくいかなくとも、是非、説明会を開いてもらいたいと思います。
村田課長	先月の説明会では、答えにならなかった部分が多かったと思いますが、この委員会の中で様々な意見をいただきながら、決まったことについて

発 言 者	発 言 内 容
議長	は、子どもたちや保護者の皆様に説明をしたいと考えています。子どもたちが色々な不安を抱えていることもありますので、子どもたちの意見も聞いていきたいと考えています。説明会を開くときには、保護者だけではなく、子どもたちの同席、或いは、子どもたちを対象にした説明会といったことも検討したいと思います。 その他については、これで終了とさせていただきます。 以上をもちまして本日の議事はすべて終了し、ここで議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
佐藤次長	その他 事務局より、報告並びに事務連絡をさせていただきます。 初めに、1件の報告をさせていただきます。「令和5年度、令和6年度の新入生の制服等購入予定事前アンケート調査について」です。
金岡副参事	「令和5、6年度新入生の制服等購入予定事前アンケート調査について」報告いたします。まず初めに、令和7年度の学校統合時の制服につきましては、第1回統合委員会でご説明しました通り、当委員会においてご協議いただくことになっております。本日、令和5年度、令和6年度の西武中学校新入生の制服等購入予定事前アンケート調査についての報告をさせていただきますが、令和7年度の制服の協議につきましては、今後、委員会において協議をお願いすることに変わりはございません。このことを再確認させていただいた上でご報告いたします。 令和5年度、令和6年度に西武中学校に入学する生徒の制服につきましては、西武中学校において検討、指定することになっております。令和7年度の学校統合時の制服に関し、保護者の皆様から様々な意見がございました。このことから、仏子小学校の5年生、6年生の児童及び保護者の意向等を調査する必要があると判断し、入間市教育委員会でアンケートを実施させていただきました。その結果が、お配りした保護者宛ての文書の写しの通りとなります。この回答結果を参考に、6年生の保護者の意向が変

発 言 者	発 言 内 容
佐藤次長	化することも考えられますので、再度、同様の調査を実施する予定です。その2回の調査結果をもとに、教育委員会と西武中学校で検討し、制服等についての方向性を、保護者にお示ししたいと考えております。 なお、保護者にお示した方向性につきましては、次回、1月の委員会においてご報告させていただきます。 只今、令和5年度、令和6年度の新入生の制服等に関する事前アンケート調査の報告をさせていただきました。統合前の令和5年度、令和6年度の制服の取り扱いにつきましては、当委員会での協議事項ではございませんが、令和7年度に統合する際の制服につきましては、当委員会の協議事項となっています。そこで、今後、協議をいただく際の参考としていただくため、令和5年度、令和6年度の新入生の制服について、現在このような動きがあるということを報告させていただきました。 協議事項ではありませんが、ご意見等がございましたら、参考にお伺いさせていただきます。
栗原委員 金岡副参事	仏子小学校だけで西武小学校は調査をしていないのですか。 西武小学校の児童は、野田中学校の制服を購入して入学します。今回、この調査を行ったきっかけは、仏子小学校の保護者説明会を行った際に、令和7年度の統合時を考え、入学時に、野田中学校の制服を購入することはできないのかと意見があり、意向調査をすることになりました。西武小学校には意向調査はしておりません。
鈴木委員 金岡副参事	西武中学校の制服と、野田中学校の制服では、どちらが高いのですか。 野田中学校の方が約1万2千円高いです。
鈴木委員	写真を見る限り、野田中学校の方が良く見える。私の時代は、兄弟のお古を使っていたこともありました。
佐藤次長	鈴木委員がお話しされたように、兄弟がいる方でお兄さんの制服を、そのまま弟さんが着るといったご家庭もあるかとも思いますので、統合に係わるご家庭にアンケートをお願いしました。また、このアンケート結果を、保護者の方にお知らせしていますので、この結果を見たときに、お考

発 言 者	発 言 内 容
	えが変わる可能性もあります。そこを踏まえて、もう一度アンケート調査を行いたいと思います。その結果については、次回、1月の委員会でご報告させていただきます。 次に、事務連絡を申し上げます。次回の委員会は、令和5年1月26日木曜日、19時から本日と同じ西武公民館の大会議室となります。 閉会 (横田副委員長よりあいさつ)

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和4年12月28日

議 長 の 署 名

幡野 敏彦

議長が指名した者の署名

平岡 武